

# 社会保険労務士からの三方一両得だより

平成29年 3月20日 第90号

## フォーク曲げをマスターしました

メンタリストの DaiGo さんで有名なフォーク曲げをマスターしました。これで名刺交換やセミナーでのつかみは万端になったかもしれません。なぜならフォーク曲げのできる社労士なんて、県内のみならずどこでも会ったことはありませんから。まあ実際のところ、どういうタイミングで「私、フォーク曲げられるんですよ」と言えばいいかも分かりませんが・・・

メンタリストの先生からやり方を教わりながら、ひたすら実践練習です。ちょっとしたコツもこまめに伝授していただき、夕方には結構さまになってきたような自信も湧いてきました。先生のご友人(なんと催眠術師)も遊びに来ていたのですが、もう一人いたはずの受講生がキャンセル

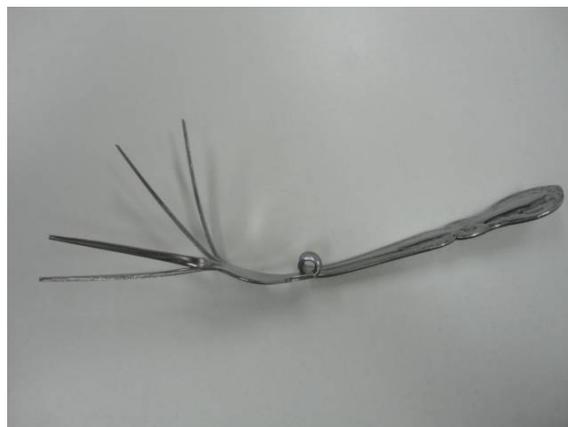


髪型まで曲がってしまったようです・・・

先生にこの結果をご報告したところ、「その日のうちに家族に見せた人は、たぶん山川さんが初めてですよ」と言われました。私も妻に似て、他の方よりも考え方がシンプルなのかもしれません。

になり、二人がかりで教えていただきましたので、習得が早かったのかもしれません。

家に帰りまして、妻に披露したところ「すごい！曲がってる！なんでなんで」と驚いてくれました。妻が素直な人で良かった。



調子が良ければここまでできます。



黒く見えるのが堆肥です。

最近雨があまり降らなかったせいで畑が乾燥しきつてまして、掘り返すと土埃がひどかったのですが、なんとか耕し終わりました。

庭の畑には堆肥をまいて漉き込みも終わり、野菜作りの準備万端です。

この3連休にはジャガイモを植え付けます。(この記事は5日に書いています)昨年収穫したジャガイモも腐ることなく芽がでてきましたので、今年はこちらも植えてみることにします。

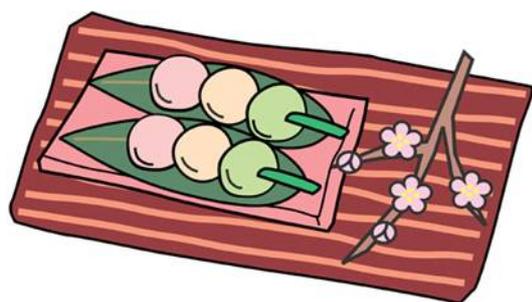
我が家の畑

## 転職シーズン到来！今どきの転職事情はどうなっているのでしょうか？

例年3～4月は、年間で最も中途採用が多い時期です。その理由は、事業年度が変わることで多くの企業で新事業の開始や組織の再編が行われ、異動者や退職者が増えるため。またそれに伴う人材募集も多くなるからです。

転職市場は年々広がり続けています。日本経済新聞(2月18日付電子版)によれば、リーマンショック後に大きく落ち込んだ転職者数は、その後順調に回復し、昨年7年ぶりに300万人の大台を回復したとのことです。

株式会社インテリジェンスの「DODA 転職市場予測」によれば、今年上半期の求人数の増減見込みは、11業種のうち「増加」が3業種、「緩やかに増加」が5業種、「横ばい」が3業種とのことです。つまり、求人数を減少させる業種はないとも言えます。



今は全体的に人手不足の時代ですが、転職市場においても「売り手市場」がまだまだ続きそうです。

実際のところ当事務所のお客様でも、中途採用の必要がありハローワークや各種求人サイトなどへの登録、折り込みチラシへの出稿などをしても、問い合わせすらない会社様が多いのが現状です。



過去にはなかった近年の転職の特徴の一つが「転職後の給与の方が転職前より上がる傾向」にあることです。厚生労働省によれば、平成27年を境として、「転職で給料増」が「転職で給料減」の数を上回り続けています。

また、もう一つの特徴が、中年層以上の転職者が増加していることです。総務省「労働力調査(詳細集計)」によれば、昨年の45～54歳の転職者は50万人でしたが、これは平成14年以降で最多の人数です。

現時点で中途採用の予定がない企業にとっても、自社の従業員がより良い待遇を求めて他社に流出しやすい時代だと言えます。従業員が自社への不満を必要以上にため過ぎることのないよう、待遇には細心の注意が必要だと言えます。